
1. 業務概要

1.1. 業務名称

男鹿市公共ライドシェア導入可能性調査業務委託

1.2. 業務目的

男鹿市男鹿中地区では、現在、定時定路線の市内バス路線が運行されているものの、午前中の上り1便に限られ、日中を中心に「交通空白時間」が生じている。

また、既存の交通体系は定時定路線型を基本としているが、高齢化や人口減少により多様化・個別化する移動ニーズに十分対応できていないのが現状である。

さらに、交通事業者の担い手不足などにより、従来型の運行モデルを維持すること自体が難しくなりつつあり、持続可能な地域交通のあり方が問われている。

このような状況を踏まえ、本業務では、男鹿中地区を対象に、地域の実情に即した新たな交通手段として公共ライドシェアの導入可能性について調査・検討を行った。

また、地域関係者との対話や説明会・ワークショップ等を通じて住民理解と合意形成を図り、令和8年度以降の交通施策の具体化・事業化を目指すことを目的とした。

1.3. 発注者

男鹿市総務企画部企画政策課

1.4. 受注者

日本工営株式会社秋田事務所

1.5. 履行期間

自) 令和7年9月1日

至) 令和8年3月31日

1.6. 業務項目

- (1) 計画準備
- (2) 調査の実施
- (3) セミナーの開催（インプット講義）
- (4) ワークショップの開催（課題解決型グループワーク）
- (5) 令和8年度以降の交通施策に向けた提案とビジョンの検討
- (6) 合意形成及び運行体制構築に向けた助言・支援
- (7) 成果の整理・報告書の作成

1.7. 業務フロー

本業務の業務フローを図 1-1 に示す。

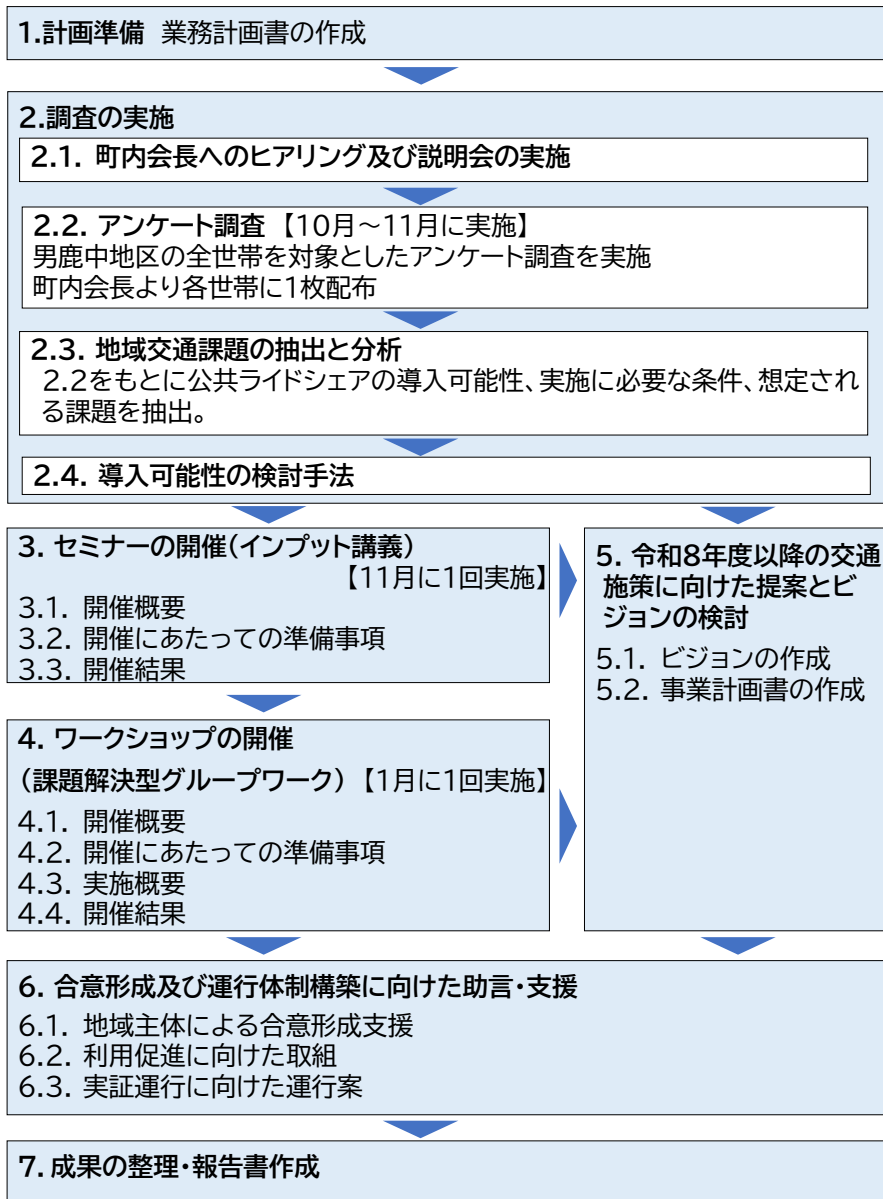


図 1-1 業務フロー

1.8. 業務内容

1.8.1. 基本方針

「交通空白時間」地区の解消に向けた課題を整理・分析し、地域の実情に即した持続可能な交通体系のあり方を検討するとともに、公共ライドシェアの導入可能性を探った。

地域住民や交通事業者との対話を重ねながら、持続可能な交通運営に向けた共通理解の醸成と、地域交通の計画策定・実行に主体的に関与できる人材の育成を目的としたセミナー及びワークショップを実施した。

これにより、参加者がデータ活用、計画立案、課題解決に必要な実践的スキルや戦略的思考を習得し、地域主体による改善が継続される体制の構築を目指した。

本業務により得られた成果及び将来の地域交通の目指すべき方向性については、男鹿市地域公共交通計画等との整合を図りつつ、今後の施策展開に資する基礎資料とした。

1.8.2. 計画準備

スケジュール及び業務フローの作成及び管理

業務開始から完了までの詳細スケジュール及び業務フローを作成し、市と打合せを綿密に行い、業務の進行管理を遺漏なく行った。

1.8.3. 調査の実施

交通課題の実態把握及び公共ライドシェア導入の可能性検討の基礎資料とするため、以下の調査を実施した。

- ① アンケート調査
- ② ヒアリング調査
- ③ 課題整理・分析

1.8.4. セミナーの開催（インプット講義）

地域住民、交通関係者、市職員等を対象としたセミナーを開催し、地域交通政策に関する基礎的な知識をインプットした。

セミナーでは、公共ライドシェアに関する基本情報（制度の概要、導入事例、運用形態、課題と対応策等）を中心に専門的知見を提供した。

加えて、必要に応じて、持続可能な地域交通運営体制の構築に向けた考え方や実践例についても取り上げた。

セミナーの内容については、市と協議しながら適宜設計した。

1.8.5. ワークショップの開催（課題解決型グループワーク）

地域住民や関係者等を対象に、地域課題の共有と解決策の検討を目的としたワークショップを実施した。参加者がアンケートやヒアリング等で得られたデータをもとに、実践的な課題解決に取り組み、公共ライドシェア等の新たな交通施策について住民主体のアイデアを創出する場とした。ワークショップは、ファシリテーションを含めて受託者が主体的に企画・運営した。

1.8.6. 令和8年度以降の交通施策に向けた提案とビジョンの検討

令和8年度以降の公共ライドシェアの導入・展開を含む交通施策全体の方向性について、提案とビジョンの検討を行い、次年度以降の公共交通再編の基本設計素案の作成や、事業計画・予算案への反映に向けた支援を行った。

1.8.7. 合意形成及び運行体制構築に向けた助言・支援

地域住民に対し、合意形成及び運行体制構築に向けた助言・支援を行った。

① 地域の合意形成等に向けた助言・支援

地域住民との意見交換にあたり、資料作成や議事録作成等、地域の合意形成に向けた助言・支援を行った。

② 利用促進に向けた取組

市とともに、運行する地域の住民に対し新たに導入する交通サービスの周知等、利用促進に向けた取組等、その他必要に応じて助言や支援を行った。

また、必要な資料の作成を行い、交通サービスの利用の仕方等について、住民向け説明会等の支援を行った。

1.8.8. 成果の整理・報告書の作成

調査、セミナー、ワークショップ等の結果を総合的に整理し、男鹿市における持続可能な地域交通のあり方に関する提案を含む報告書を作成した。報告書には以下の内容を含むものとした。

- ① 調査の概要及び結果（定量・定性）
- ② 抽出された地域課題と分析結果
- ③ 公共ライドシェアの導入に向けた方向性・課題・検討事項
- ④ 育成プログラムの設計内容と実施結果（セミナー・ワークショップ）
- ⑤ 令和8年度以降の交通施策に向けた提案とビジョン

なお、本業務は県の補助事業に位置付けられており、県・市が求める資料の作成、報告に適切に対応した。